

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3
6月定例会 議案等審議結果一覧	3
議会新体制スタート	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



平成30年度那須烏山市消防操法大会 (5月27日)

6月定例会が6月5日(火)に招集され、6月11日(月)までの7日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は3ページに掲載しております。
*議決された議案等の内容など、詳しくは「広報那須烏山第154号」をご覧ください。会議録は市立図書館と市ホームページで閲覧できます。

一般質問議員と質問項目(質問順)

滝口 貴史 議員



- 市立幼稚園・保育園の今後の運営について
- 生涯学習施設の充実について
- 那須烏山市農業振興ビジョンの進捗状況について
- 東京オリンピック、パラリンピック聖火リレーの誘致について
- 中学校、烏山高等学校の連携事業について
- 八溝グリーンラインの改修について

中山 五男 議員



- 道路行政について
- 平成30年度米の対策について
- 霞ヶ浦導水事業について
- 学校教育について

相馬 正典 議員



- 賑わいのある中心市街地の再生について
- 活力ある農工商の推進について
- グラウンドゴルフ場整備について
- さくらの名所づくりについて

平塚 英教 議員



- 本市第2次総合計画について
- 中小企業振興対策について
- 本市食育推進計画第3期の策定について
- 学校給食について
- 児童・生徒の生活安全対策について
- 介護保険制度について

村上 進一 議員



- 那須烏山市中小企業振興基本条例施行後の対応について
- 「道の駅」建設再検討について
- 運動会の統一開催について
- 那須烏山市公共施設のトイレについて

洪井 由放 議員



- ごみの減量化について
- 国土強靱化計画地方版について
- 平成30年度障がい者優先調達推進方針について
- 空家等対策の推進に関する特別措置法について
- 電子入札について
- LEDリース事業について

小堀 道和 議員



- 健康マイレージの有効活用について
- 健全な財政運営について
- なすから英語塾継続活動について

高田 悦男 議員



- 市庁舎整備について
- 農林業の振興について
- 河川のライブカメラについて
- スポーツの振興について

矢板 清枝 議員



- 男性の育児参加について
- 子育て環境の充実について
- 通学路の安心安全対策について
- 公共交通の充実について

議会の動き

平成30年3月

31日 議会だより第48号発行

4月

22日 市議会議員選挙
23日 市議選当選証書付与式

5月

27日 初顔合わせ
8日 第2回臨時会
○議員全員協議会
9日 各委員会
9日 新人議員等研修会

6月

29日 議会運営委員会
○議員全員協議会
5日 第3回定例会(11日まで)
○議員全員協議会

7月

8日 各常任委員会
○議会広報委員会
11日 各特別委員会
28日 文教福祉常任委員会視察研修
10日 議会広報委員会
19日 議会広報委員会
23日 経済建設常任委員会意見交換会
25日 議会改革特別委員会

※赤字になった項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

平成30年6月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。

滝口 貴史 議員

市立幼稚園・保育園の今後の運営について



ここにこ保育園の園児たち

限に活用した充実が掲げられている。また、公立保育園等施設整備計画が示されたのだが、今後の進め方について伺う。

(答) 段階的に七合保育園をすくすく保育園へ統合し、ここにこ保育園をつくし幼稚園へ統合させることと、その際には認定こども園への移行及び、民間活力を最大限に活用することも検討する。

なお、民間活力を活用する手法としては、指定管理者制度、民設民営方式、一定期間指定管理者による運営を実施した結果を確認後に民設民営に移行し、自主的・主体的管理運営を行う方式などがある。本市の保育需要に見合った手法を検討していく必要がある。

中山 五男 議員

学校教育について

(問) 全国学力テストの成績を全国トップレベルに引き上げたい、と言いつつ具体的な成績公表をためらっている。その理由は、学校現場の指導力不足をあらさまにしたくないとする配慮からか。

(答) 成績公表の方法は昨年同様、全国平均の正答率を上回った科目は丸印、マイナスの科目は三角印等にした。今後は数字による公表も排除しない旨、校長会等で明言している。

今年産米の対策について

(問) 国による減反制度が廃止され、今年度から本市農業再生協議会長の市長から水稲作付参考値面積が提示された。そこで、配分面積を達成しない農家が農協等へ米を出荷した場合、価格差をつけるのか。今後の対策を含め伺いたい。

(答) 農業再生協議会として、配分に従わなかった農家に対し、ペナルティは考えていない。農協で買い入れ価格に差をつけるとは今のところ聞いていない。今後の対策は、飼料用米を転作物物の中心に位置づけるなどしながら、作物生産の維持・拡大を推進する。

相馬 正典 議員

賑わいのある中心市街地の再生について

(問) 観光客をはじめとする交流人口の増加は、地域活性化を推進する上で重要なカンフル剤であると考えられているが、中心市街地の再生、活性化に向けた観光振興策として、今後どのような取り組みを推進していく考えか伺う。

(答) もうかる観光への転換を目指し、既存の観光資源だけでなく、自然・歴史・文化といった豊富な地域資源に市民力を掛け合わせた、新たな観光産業の創出と、持続可能な観光地域づくりを推進する。

JR烏山駅前整備された広場の有効活用について

(問) JR烏山駅前整備された広場の有効活用に向けた具体的方策について伺う。

(答) JR烏山駅前・山あげ会館を核とした各種イベントの開催や、まちなか観光との連携により、相乗効果の高い観光、まちづくり

平塚 英教 議員

中小企業振興対策について

(問) 昨年3月定例会市議会で可決制定された中小企業振興基本条例の運用について伺う。また条例の実行性を高めるために本市関係機関、中小企業及び支援団体、金融機関、その他関係団体で協議会を設置して、市内中小企業の振興に関する具体的な支援対策の展開を図りたい。

新たな中小企業振興支援を推進するため、今年3月に商工会・商店会・農協・工業者団体・金融機関等の関係団体で意見交換を行った。さらに商工会において事業承継について市内中小企業事業者を対象としたヒアリング調査を実施する。これらの結果を踏まえ、より実効性のある施策を検討するため仮称「中小企業振興会議」を設置する。

児童生徒の生活安全対策について

(問) 昨年1年間に全国で12歳以下の連れ去り事件が72件も発生している。本市の児童・生徒の通学等安全対策は十分図られているか。

(答) 今後、学校・地域・保護者及び関係機関との情報共有をさらに図り、子供たちの安全確保のため、連携を強化していきたい。



児童の登校風景

村上 進一 議員

那須烏山市中小企業振興基本条例施行後の対応について

(問) 条例施行後1年が経過した。この1年間に市としてどのようなアクションを起こしたか伺う。

(答) 3月に関係団体を集めて意見交換会を行った。一番の問題は中小企業の事業承継であり、商工会の中小企業に向けてのヒアリング結果を踏まえ、新たな中小企業の振興策について検討していきたい。

道の駅建設再検討について

(問) 道の駅建設について再考する考えはあるのか、また再考する条件について伺う。

(答) 市内のプロジェクトチームからの報告では、道の駅に期待できる産業振興・地域活性化・交流人口増・雇用といった効果は有効であるとのことだった。道の駅整備には多額の財政支出を伴う。検討に当たっては、市民の声、特に将来

の負担を背負う若い世代の声を慎重に聴いていかなければならないと考えている。本年度は、その声を聴くことを中心に、引き続き調査・研究を行っていく。

渋井 由放 議員

ごみの減量化について

(問) デイスポーターによるごみの減量化の提案を行った。その後どのような調査研究を行っているか伺う。

(答) 下水道へのデイスポーターの接続は、管理者である各自治体が施設の構造、処理能力等の特性を踏まえて判断をしている。調査によると平成28年現在、県内の導入状況は、直接投入型デイスポーターについては、禁止または自粛を要請しているのが17自治体で、特に何も決めていないのが本市を含め8自治体である。処理槽つきデイスポーターは、設置を認めている自治体が11自治体、禁止または自粛を要請している自治体が5自治体、本市を含む残り9自治体が特に何も決めていないという状況である。

生ごみは、暑い時期には、臭いやハエが出る。また、寒い時期には、お年寄りなどは、ごみ出しに出るのが辛いと聞く。

(答) 下水道の処理能力は多くあるという科学的なデータをもとに導入の結論を出していただきたい。

調査研究を進め、デイスポーターに関するルールづくりをしていきたい。

なすから英語塾継続活動について

(問) 今年度で助成終了の事業だが山あげ祭や本市の



なすから英語塾の受講者と講師

小堀 道和 議員

健全な財政運営について

(問) 本市の厳しい財政事情を乗り切るために公共施設の統廃合などの計画実行が急務である。市民に財政状況や公共施設の統廃合、加えて我慢すべきことなどを説明し理解を得ることは避けて通れない難問で強いリーダーシップが求められる。市役所職員に対する共通理解も含めて市長の見解を伺う。

(答) 市長としてリーダーシップを発揮しながら、市職員とともに当事者意識をしっかりと持って、予算編成、決算報告、将来の見通し等の財政状況や個別施設計画に基づく施設集約化・複合化・統合化についての説明責任を果たしつつ、市民の理解を得られるよう全職員の尽力によるオール那須烏山体制で努力していく。

なすから英語塾継続活動について

(問) 今年度で助成終了の事業だが山あげ祭や本市の

ガイド役として活動をしてきた塾生に「英語ガイド認定証」を発行し、いろいろな場で活躍できる制度にして継続すべきと思うが見解を伺う。

(答) 認定制度はガイド認定の基準設定等の判断が難しいが、受講者が活躍できるように本事業を推進したい。

高田悦男議員

市庁舎整備について

(問) 市民は、必ずしも市庁舎新築を望んでいるとは限らない。利用可能なものは大事に利用すべきである。現在、烏山庁舎を含め4庁舎が存在するが本庁舎方式への移行が可能かお聞きしたい。

庁舎を核に営々として築かれたまちづくりをどのようか考えているのか。

庁舎整備等検討委員会の議事録、那須烏山市庁舎整備基本構想素案によると新築による本庁舎方式の考えに誘導しているように感じるが、いかがか。

(答) 合併以来それぞれの行政庁舎を活用した分庁方式の行政運営であるが、施設の老朽化や耐震不足が指摘されている。新本庁舎の整備等については、市総合計画を初め各種計画に位置づけられており、都市活動の拠点である烏山市街地に既存施設の活用も検討した本庁方式による行政庁舎を整備し、行政組織のスリム化等を図る。本庁方式の移行に当たつ

ては、出先機関等の窓口サービスをどうするのかも含めて検討する。

市街地に都市機能を集積したコンパクトシティの形成を図り、効率的かつ効果的なまちづくりを進めていく必要があると考える。

矢板 清枝議員

子育て環境の充実について

(問) 子育て支援センターさらさらとこども館が互いに連携をとり合い、開催日の調整ができないか伺う。

(答) 今後は、引き続きお互いの施設が連携し、日程等を調整しながら、子育て中の親子の交流の場を提供し、子育て等に関する相談や援助、地域子育て関連情報の提供をしていく。

通学路の安心・安全対策について

(問) 神長から烏山小中学校に徒歩通学をしている歩行者の安全対策ができないか伺う。

(答) 当面は路面の修繕と、歩行者の安全対策として、運転手に注意を促すよう文字とイラストが描いてある表示板の設置で対応する。

公共交通の充実について

(問) 交通弱者の対策としてデマンド交通を実施しているが、今後の進め方について伺う。

(答) 運転免許証自主返納者支援制度や障がい者・高齢者福祉タクシー事業の所管課との協議を昨年度から始めた。効率的な制度となるよう検討し、今年度中に結果を出せるよう進めている。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-88-7114)

9月定例議会は、9月4日(火)開会予定です。

※正式な日程は、8月28日に開催される議会運営委員会で決定されます。



設置された運転手に注意を促す表示板

主な質疑

6月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。

平成29年度一般会計繰越明許費繰越計算書について

議員 それぞれの事業の状況と完了する見込みについて伺う。

答弁 総務費の庁舎整備費は、烏山庁舎外部補修工事。7月末の完了予定で、現在施工中である。土木費の河川総務費は、国道294号烏山バイパスの山あげ大橋東側の崖について崩壊

する予定である。

那須烏山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

議員 改正によって放課後児童支援員について新たに5年以上、放課後児童健全育成事業に従事した者で、市が適当と認められた者を、資格要件として新設するなどしたことだが、これによる支援員対象者の見通しを伺う。

答弁 現在は4名の補助員がおり、そのうち既にこの5年以上の要件を満たしている方は2名である。

平成30年度一般会計補正予算について

議員 烏山庁舎整備費について現在1875万円の請負額で施工しているが、今回800万円の増額補正をした。当分はこれで大丈夫なのか。

答弁 現在施工中の烏山庁舎屋根改修工事新たに軒天や外壁の欠損補修、剥落防止などに対応するための補修工事費である。築57年経過している建物だが、検査を行い当面はこれで問題ないと判断した。

議員 農地費の多面的機能支払交付金事業費は何団体にどのような交付をされているのか。

答弁 今回は現在の10地区



外部補修工事中の烏山庁舎



築城600年を迎える烏山城三の丸南西

6月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)

議案等		審議結果	議案等		審議結果
議案第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	議案第3号	那須烏山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決
議案第2号	那須烏山市税条例等の一部改正について	可決	議案第1号	平成30年度那須烏山市一般会計補正予算(第1号)について	可決

※掲載は採決順。

議会新体制スタート!

平成30年4月22日に執行された市議会議員選挙において17名の議員が選出され、5月8日に開催された第2回市議会臨時会において市議会の新体制が次のとおり決定しました(◎は委員長、○は副委員長。)

議長

沼田 邦彦

副議長

田島 信二

◇議会広報委員会

◎矢板 清枝 ○堀江 清一
・興野 一美 ・荒井 浩二
・福田 長弘 ・村上 進一
・相馬 正典 ・田島 信二

◇南那須地区広域行政事務組合議会議員

・小堀 道和 ・久保居光一郎
・沼田 邦彦 ・中山 五男
・高田 悦男 ・平塚 英教

◇議会選出監査委員

・渋井 由放

◇6月定例会において、新たに特別委員会を設置しました。

◇JR烏山線利用促進等特別委員会

▽設置目的…JR烏山線利用促進及び公共交通に関する調査研究のため

◇議会改革特別委員会

◎高田 悦男 ○荒井 浩二
・青木 敏久 ・堀江 清一
・滝口 貴史 ・相馬 正典
・田島 信二 ・久保居光一郎

◇庁舎整備検討特別委員会

▽設置目的…庁舎整備に関する調査研究のため

◎中山 五男 ○矢板 清枝
・興野 一美 ・福田 長弘
・村上 進一 ・小堀 道和
・渋井 由放 ・沼田 邦彦
・平塚 英教

◇久保居光一郎 ○渋井 由放 他議員15人



◇総務企画常任委員会
◎小堀 道和 ○興野 一美
・堀江 清一 ・矢板 清枝
・高田 悦男



◇文教福祉常任委員会
◎滝口 貴史 ○青木 敏久
・福田 長弘 ・相馬 正典
・田島 信二 ・久保居光一郎



◇経済建設常任委員会
◎平塚 英教 ○村上 進一
・荒井 浩二 ・渋井 由放
・沼田 邦彦 ・中山 五男

議案等	審査結果
議案第1号 専決処分の承認を求めることについて(平成29年度那須烏山市一般会計補正予算(第6号)について)	承認
議案第2号 専決処分の承認を求めることについて(那須烏山市税条例の一部改正について)	承認
議案第3号 監査委員の選任同意について	同意

5月8日(火)に招集され、市長より提出された議案はすべて全会一致で承認等しました。その議案は左記のとおりです。

5月臨時会



4月は県内で3市町長選と6市町議選が行われ「ミニ統一地方選」の様相を呈しておりましたが、すべての選挙で投票率が前回を下回りました。このことは、政治に対する無力感が背景にあると指摘されています。そのような中、当市でも17名の議員が選出され、このたびの臨時議会

議長就任挨拶

4月は県内で3市町長選と6市町議選が行われ「ミニ統一地方選」の様相を呈しておりましたが、すべての選挙で投票率が前回を下回りました。このことは、政治に対する無力感が背景にあると指摘されています。そのような中、当市でも17名の議員が選出され、このたびの臨時議会

議長に就任させていただきます。身に残る光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感しております。議会においては、お互いの人格と名誉を尊重し、切磋琢磨し、その上では非々を貫き、丁々発止の活発な議論を行うことが極めて重要であると認識しております。そのため、議長として、中立、公平かつ円滑な議会運営に努めて参ります。また、市民の皆様から政治への信頼をいただけるよう、議会改革を強力に押し進める所存です。

那須烏山市は、残念ながら日本創成会議の示す896の消滅可能性都市に名を連ねております。その評価を覆すためにも、市の抱える人口減少、少子高齢化、地域経済の縮小などの課題に対し、議会で活発な議論を行い知恵を出し合うとともに、関係機関、さらには市民の皆様と協働し、オール那須烏山で取組んで参りたいと考えております。皆様のご理解とご協力をお願いし、ご挨拶いたします。

第9代議長

沼田 邦彦

表彰

5月に東京都で開催された第94回全国市議会議長会の定期総会において、沼田邦彦議長が議員在職10年の表彰を受けました。また、6月に県公館において平塚英教議員が栃木県地方自治功労者表彰を受けました。



田島副議長(右)より表彰状を受け取る沼田議長

あとがき

4月22日に市議会議員選挙が行われ市民の附託を受け、新たな17名体制で市議会がスタートしました。本市を取り巻く様々な課題が山積しているなか、市長はじめ執行部と市議会議員全員で、オール那須烏山体制で市の課題解決に向け取り組んで参ります。

また、広報委員も体制が変わり今号から新たに5名の新人と再任3名の8名での編集により市民の皆様にお届けすることになりました。広報紙は広報広聴の大事な役割と捉えております。皆様によりわかりやすい紙面をお届け出来るようメンバー一同、力を尽くして参りますので期待してお待ちいただけます。最後、西日本豪雨で甚大な被害に遭われました皆様にお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復旧、復興をご祈念申し上げます。那須烏山市においても、いつ何時災害が起きるかわかりません。市民の安心安全を第一に防災対策にもしっかりと取り組んで参りますのでよろしくお願致します。

(矢板清枝議員)